



病院のうごき

腎臓内科 大橋医師が「第27回 日本腹膜透析学会学術総会 Young Investigator Award」を受賞

演題「Influence of exit-site or tunnel infection on cellular fractions of peritoneal dialysis effluent」



大橋 敦希 医師

上記学会にてYIAを頂くことができました。腹膜透析離脱の大きな原因は腹膜硬化、感染合併です。当科で行っている排液フローサイトメトリ分析で両者との関わりを探っています。今回は、マクロファージ

M1/M2分画比の上昇が傍カテーテル感染に関連するという内容を発表しました。臨床の実用性という意味ではまだ多くの課題があります。これからさらに拡張していきたいです。ありがとうございました。

CS委員会がビデオコンサートを開催



左から伊藤一志さん、甲高亮さん、伊藤玲奈さん、香取峻さん

当院のCS（患者サービス向上）委員会は例年、入院患者さん向けに七夕とクリスマスの時期にコンサートを開催してきましたがコロナ禍で中止となりました。そこで12月7日～17日に演奏をビデオに収録し病室のテレビで視聴していただきました。

出演者は甲高亮さん（ボーカ

ル、リハビリテーション部）、伊藤一志さん（キーボード/コーラス、リハビリテーション部）、伊藤玲奈さん（カホン、薬剤部）、香取峻さん（ギター、施設課）の4名で、「上を向いて歩こう」、「川の流れるように」、「にじいろ」、「セロリ」の4曲を披露しました。

川柳で医療安全対策の推進を

厚生労働省では毎年11月25日（いい医療に向かってGO）を含む1週間を「医療安全推進週間」と位置付け、医療安全対策の推進を図っています。

当院でも11月22日～30日を「医療安全推進週間」とし、医療安全川柳を募集しました。各部署から寄せられた川柳の一部をご紹介します。

・安全に 効かせるスパイス 指差し呼称

・やっただけ 気のないチェックに 効果なし
・ちょっと待て 名前の確認 大丈夫？

・知ってるよ それでも聞くの フルネーム

・顔なじみ 名前確認 聞く習慣

今後も安全な医療を提供させていただくために、病院全体で取り組んでまいります。

年末年始の休診のお知らせ

2021年12月29日（水）から2022年1月3日（月）までは一般外来を休診とさせていただきます。なお救急外来はこの間も24時間診療しておりますのでご理解とご協力をお願い致します。

今月の表紙

私たち健康管理センターのスタッフは、皆様の健康管理をお手伝いするため丁寧な対応に努めてまいります。どうぞ宜しくお願い致します。



わたしの家族



外出自粛中、庭で産卵したキアゲハの幼虫を子供と育てました。はじめは真黒ですが、脱皮して模様が変わり、ICU看護師主幹 鎮目祐子 先日さなぎになりました。来春蝶になるのが楽しみです。

脳ドック

- 未発症の脳血管障害の早期発見とその危険因子をチェック
認知症検査も開始

脳ドックの目的は、未発症の脳血管障害（脳梗塞・未破裂脳動脈瘤など）の早期発見と危険因子の検索にあります。また、認知症検査、アルツハイマー病遺伝子検査（ApoE）も実施しています。

- 日本脳ドック学会認定施設です。



人間ドック・脳ドックの結果説明



肺機能検査



胃内視鏡検査



胃部レントゲン検査



昼食

（現在、感染防止対策のため中止しております）



食堂

（現在、感染防止対策のため使用していません）

特集

人間ドック・脳ドック

～早期発見・治療で健康生活を～

現在、日本人の死亡原因の6割以上はがん・心疾患・脳血管疾患で占められています。これらの疾患は、これといった自覚症状がないことが多いため、気が付いた時には手遅れということもあります。人間ドックの目的は、これらの「がん」や糖尿病や高血圧などの「生活習慣病」を早期に発見し治療や改善に結び付けることにあります。

当院の人間ドックでは、がんを見逃さないように複数の専門医によるチェック体制をとっております。また生活習慣病に関しては、生活改善に向けて保健師による指導・支援を行っております。総合病院のメリットを活かした早期発見・治療、予防医学へと、各専門家と連携をとりつつ皆様の健康増進のお手伝いをいたします。



健康管理センター

人間ドック

- 主な検査を健康管理センター内で受けられます。

人間ドックの基本項目全ての検査設備を健康管理センター内に備えている独立型の施設です。消化器専門医による胃内視鏡検査もセンター内で実施しています。

- 日本ドック学会認定医の専門医が常勤しています。

- 当日の結果について医師からの説明や、保健師・看護師からのアドバイスや相談も行っています。

受診された方の結果は電子カルテでデータ管理され、当センターで継続して受診されれば過去の健診結果と比較することが可能です。ご希望の方には、当日の結果を確認しながら医師からの説明や、保健師・看護師からのアドバイスや相談も実施しています。

- 治療が必要な場合は、各診療科と連携し迅速に対応します。

要精密検査対象の検査項目の多くは、総合病院である当院の診療科を予約して追加検査や治療を受けることができます。



エントランスホール

おいしい治療食のレシピ

JAとりで総合医療センター 栄養部

腎臓病食



材料

カレーピラフ

- ・精白米 75g (1 合の 1/2 量)
- ・炊きあがりご飯約 150g 分
- ・水 100g
- ・冷凍グリーンピース 5g
(ミックスベジタブルでも良い)
- ・バター 4g (小さじ 1 杯)
マーガリンでも良い
- ・鶏モモ皮付コマ肉 40g
- ・玉ねぎ 20g
- ・サラダ油 4g (小さじ 1 杯)
オリーブオイルでも良い
- ・カレー粉 1g (3 ~ 4 振り)
- ・コンソメ 0.5g (ひとつまみ)
- ・塩 0.5g (ひとつまみ)

パプリカサラダ

- ・ロースハム 20g (1 枚)
- ・ピーマン 10g
- ・赤ピーマン 10g
- ・黄ピーマン 10g
- ・サニーレタス 10g
- ・マヨネーズ 10g

果物

キウイフルーツ 75g (1 個)

作り方

カレーピラフ

- ① 玉ねぎをみじん切りにする。
 - ② 温めたフライパンに A のサラダ油を引き、鶏肉・玉ねぎを入れ炒める。カレー粉を振り、塩・コンソメで味つけする。
 - ③ 研いだ米と水を炊飯器に入れ、②の具と冷凍グリーンピース、バターを加えて炊く。
 - ④ 炊きあがったらよく混ぜて盛り付ける。
- ※少し硬めに炊き上がります。軟らかめのご飯がお好みの方は水の量を加減してください。
- ※鶏肉が苦手な方は、鶏肉の代わりに冷凍むき海老やシーフードミックスを使っても良い。
- (例：この献立の鶏肉を冷凍むき海老 40g に変えた場合
エネルギー 527kcal、蛋白質 18.3g、脂質 18.9g、炭水化物 75g
食塩 1.6g、カリウム 632mg、リン 273mg)

パプリカサラダ

- ① サニーレタスは一口大にちぎる。
- ② ピーマン・パプリカは一口大の千切りにする。
- ③ ハムは半分に切り、すべての材料を器に盛る。

果物

お好みで季節の果物を添える。
※カリウム制限のある方は、果物缶に変えるとカリウムが減らせます。(例：この献立のキウイフルーツをみかん缶 50g に変えた場合→カリウム 453mg)

エネルギー	570kcal	脂質	24.4g	リン	253mg
炭水化物	74.7g	食塩	1.6g		
蛋白質	17.1g	カリウム	640mg		

赤ちゃんは、お薬の「苦味」、「におい」、「ざらつき」等が原因でくすりを嫌がることがあり、苦労されているお母さん方は多いと思います。今回は赤ちゃんへの粉薬の飲ませ方について解説します。

●具体的な飲ませ方

【方法①】

小さな容器の中に粉薬をあげ、数滴水を加えて、ペースト状に練ります。清潔な手で、練ったお薬を指先につけます。ほおの内側や上あごに塗布し、水やぬるま湯などを飲ませて流し込みます。舌の上に塗ると苦味を感じるため避けるようにしましょう。

【方法②】

小さな容器の中に粉薬をあげ、少しずつ水を加えて、シロップ状(液体)にします。溶かしたお薬をスプーンやスポイト、哺乳瓶の乳首を使って飲ませます。その後、お薬が口の中に残らないように、水やぬるま湯などを飲ませます。

●注意点

①お薬をミルクに混ぜないようにしましょう。
ミルクに混ぜるとお薬を全部飲めなかったり、お薬の味のせいでミルク嫌いになってしまう可能性があります。

お薬を与えた後、ミルクを飲ませるようにはしましょう。

②1歳未満の赤ちゃんに飲ませる時は、ハチミツに混ぜないでください。

1歳未満の赤ちゃんは腸内細菌の環境が整っておらず、ハチミツを食べることによって乳児ボツリヌス症にかかることがあるからです。



Q 1日3回のお薬はいつ飲ませたらいいですか。

A おおよそ朝・昼・夕の5〜6時間間隔で、授乳時などに合わせて飲ませます。

お薬を飲ませる時間に寝ている場合は、時間がきたからといって無理に起こさず、起きたときに飲ませ、そのあとは5〜6時間あけて飲ませます。

Q お薬を飲んだ後吐いてしまったときはどうしたらいいですか。

A お薬を飲ませた後、すぐに全量を吐いたときには、もう1回分飲ませてください。その場合は吐いた後30分くらい休憩してからお薬を飲ませて下さい。服用して30分以上たつてから嘔吐した場合は、お薬が吸収されていると考え再投与しない方が良いでしょう。

医療費の二情報

診療時間外の医療費と救急電話相談

休日や夜間に受診された場合には、通常の診療費用のほかに診療報酬点数上の加算(時間外加算・休日加算・深夜加算)がプラスされます。また受診者が6歳未満の場合などは加算される金額が異なります。例えば初診の場合、休診日となっている日曜・祝日に受診すると、初診料に2,500円の「休日加算」、夜間・早朝(22時〜6時)に受診すると4,800円の「深夜加算」がプラスされます。また、薬局で薬を調剤してもらう場合も、営業時間外では割増料金がかかります。

休日や夜間の救急外来は、医師や看護師、コメディカルなどのスタッフを最小限の体制で診療しているため、限られた検査や治療しかできません。お薬も最低限の日数分だけしかお渡しできませんの緊急時などやむを得ない場合以外は、できる限り診療時間内の受診をお願い致します。また、夜間や休日の急病時に対処の方法がわからなかったり、119番で救急車を呼ぶべきか判断に迷ったときは、次のような救急の電話相談を利用してみましょう。

おとな救急電話相談 #7119	急なけがや病気で病院を受診すべきか、救急車を呼ぶべきか悩んだときにご相談ください。
こども救急電話相談 #8000	お子さんが急な病気ですぐに受診させた方がよいのか不安なときにご相談ください。



おお ほり 小堀の渡し

利根川を船から眺めリフレッシュ



④



①



②



③

「小堀の渡し」は利根川の対岸の取手市小堀地区と市中心部を結ぶ渡し船です。運航開始は大正3年で現在は取手市の観光スポットの一つとなっています。昨年3月には新たな装いで3代目「とりで号」が就航しました。

船長の栗林正弘さん（52歳）は屋形船など運航歴25年。「とりで号」は今年で5年目、「小堀の渡し」の半纏姿がきまっています。「小堀の渡し」の魅力について「散歩がてらに手軽に利根川の自然に触れながらリフレッシュできます。今の時代、自然につつまれる感覚を肌で味わえるというのは貴重ではないでしょうか。カワウや白鳥、カモメを見かける時もあり、ハクレンやボラが船に飛び込んでくることがあります。フライングデッキは、客室の上から景色を眺められるので人気がありますよ」と話す栗林さん。

107年間、一つの事故もなく安全に運航してきました。利根川の上流で大雨が降り取手の流域が増水する時は、船を避難させ桟橋を外すなど大仕事になります。バランスと筋力が欠けてきたら務まらない仕事ですからと体作りは欠かせません。

利根川をすべるように進む「とりで号」。頬をなでる風、川面の白波、遠景の緑・・・時間がゆっくりと流れ、利根川の自然が気持ちをほぐしてくれます。「小堀の渡し」は毎週水曜日と年末年始が運休日。天候により臨時運休する場合もあります。ガイド付きで小堀地区や古利根沼の周辺の散策ができるミニツアーもあります（申し込み制：現在は催行休止中）。詳細は取手市のホームページ、又は取手市役所「水とみどりの課」にお問い合わせください。

- ①「とりで号」
- ② フライングデッキからの眺め
- ③ 冷暖房完備の客室
- ④ 栗林正弘船長

取手市役所
水とみどりの課
TEL
0297-74-2141（代）



連携医のご紹介

海老原 医院

院長 海老原 聡

診療科目 内科、消化器科（胃腸科）、小児科

診療時間

午前：月・火・水・金・土 8時30分～12時

午後：月・火・水・金 14時～18時

休診日 日曜日・祝日・木曜日・土曜日午後

連絡先 TEL 0297-78-8400
〒302-0032 取手市野々井636

当院は先代が昭和29年より開業し現在に至り、内科を中心に小児科・小外科などで地域の皆様のご希望に添えるよう心がけて診療を行っております。

しかし安心して医療提供するためには、貴院のような患者様のサルベージをしていただける地域病院があつてこそ可能な医療であることは間違いのない事実であります。富満院長先生におかれましては

就任早々コロナ渦のなか、本当にご苦労なされたことと拝察いたします。

感染症指定病院として犠牲的精神のもと多くの貴院病院スタッフ様と共に地域をお守り頂いたことに、地域住民の一人として深謝申し上げます。今後とも貴院にご協力をいただきながら、共に地域医療に貢献できるよう努力します。

わたしたちの職場を ご紹介します

社会福祉部 （医療福祉相談室）

社会福祉部では、療養中に伴う社会的・心理的・経済的な心配事や不安について社会福祉士がご相談をお受けしています。相談内容によっては、他職種、他医療機関、介護関連施設、行政機関とも連携して患者さんとご家族をサポートいたします。

このようなときにご相談ください。

- ・退院後の生活や介護についての不安
 - ・医療費が高額になるのではないかと不安
 - ・福祉サービスについて知りたい（介護保険、身体障害者手帳、難病受給者証等）
 - ・地域の病院や診療所、施設等について知りたい
- などについてご相談をお受けし、各種制度の活用についてご説明しながら社会福祉士の立場から問題解決のお手伝いを致します。

直接、社会福祉部（医療福祉相談室）へご来室・ご連絡いただくか、主治医、看護師、その他スタッフへお申し出ください。



受付時間

月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時

土曜日（第1・3）午前8時30分～午後0時30分

※祝日・年末年始（12月29日～1月3日）は除く